

ケアネット活動

ご近所助け合い活動

富山市社会福祉協議会

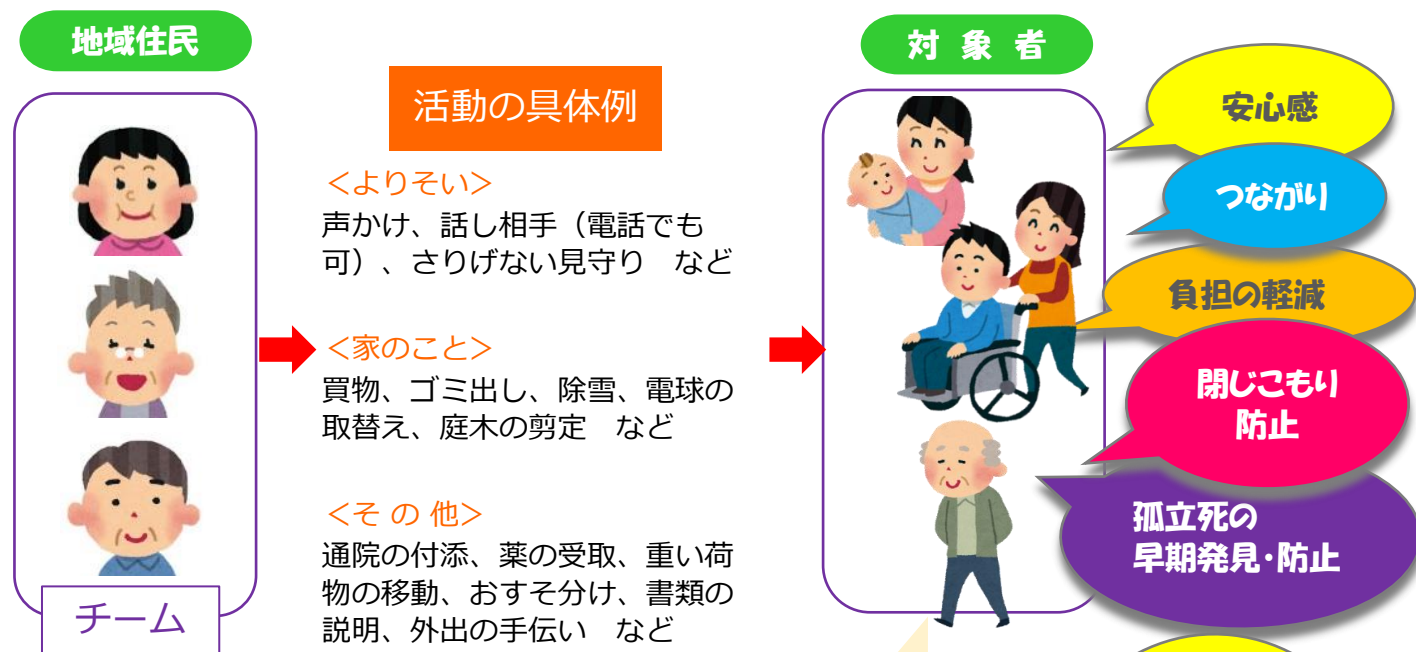
活動の目的

地域住民が複数者（2人以上）で要援護者・世帯を対象に、見守りや声かけなどの安否確認やゴミ出しなどの軽易な生活支援活動を行い、住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりをすすめることが目的です。

この活動で、自然に行われていた「向こう三軒両隣」のつながり・支え合いを現代版によみがえらせようというものです。

活動の内容

対象者・世帯に対して、地域住民がチーム（2人以上）で活動します。



《 対象者 — 要援護者・世帯の例 》

- ひとり暮らし高齢者 ●日中ひとりで家にいる高齢者
- 介護が必要な家族がいる世帯 ●閉じこもりがちな人がある世帯
- 心身に障害を持つ方や支える家族
- 子育てに不安を持っている世帯（子育て中の親子） など

支援者の例

- ◆隣人・友人
- ◆民生委員
- ◆福祉推進員
- ◆町内会役員
- ◆老人クラブ員
- ◆ボランティア
- ◆郵便配達員、検針員、宅配業者
- ◆地区社協役員 など

ケアネット活動 Q&A

ご近所助け合い活動

Q 誰を支援するのですか？（対象者は？）

A 日頃の生活や健康状態、緊急時の対応が心配な方・世帯です。
ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者がいる世帯、子育て中の世帯等を支援します。

Q 誰が支援するのですか？（支援者は？）

A 近隣の皆さんです。
お隣さんやお向かいさん、民生委員さん、福祉推進員さん、町内会役員さん、地域の世話焼きさん、ボランティアさん、地区社協役員 など



Q なぜ、支援する必要があるのですか？

A 日頃、声かけや訪問を行い、普段からさりげなく接することで要援護者（対象者）は安心感が持てるようになりますし、また、緊急事態をすばやく発見することができるからです。

Q どんな方法で、支援するのですか？

A まずは気軽なあいさつや声かけからスタートします。顔なじみになれば、近所づきあいの延長として必要な支援を行います。



支援を望まない方、
遠慮される方には…

「監視する」のではなく、気
にかけて自然な見守りを。

さりげない見守りから始めてください。

- 新聞・郵便がたまっていないか？
- 洗濯物が干しっぱなしになっていないか？
- 電気の点灯・消灯はあるか？ など

Q なぜ地域住民が主体となった活動なのですか？

A 要援護者の状況の変化に気付くのは、近隣の方が一番です。
解決が難しい場合は、抱え込まずに下記の関係機関へご相談ください。

どうされましたか？

- 地域の民生委員さん
- 地域包括支援センター
- 保健福祉センター
- 地区社協、市社協

